歯周病検診票(福山市提出用)

<u>* 太枠</u>	の中を御記	入ください	10							検査	<u>日</u>	年		月	日
名 前 ———	フリガナ	511111111111111111111111111111111111111											性 別		男 女
住 所	₹□	_		福	山市		E	町 町 月 日 日	一元	和	ス	.は 年		月	П
電話	□ 自宅 [□携帯 □	勤務先			_			_			年齢		0	歳
1 歯み a O[b 位 2 歯間	まるところに がきは1日 何 回 b 1回 っ〜dを選んだだ 可分みがきます ブラシやデン	可回します た c 2回 方は1回当か か。 /タルフロ フ	か。 d 3回以」 ^{ごり} (なを使って	L)分		6 7	ださい。 かか り 全身の a 関節	Oけのi 状態で _病	b あては b 犭	いいえ まるもの 夹心症・/) はど ∤)筋梗塞		-		
3 過去	日 b 時々 1年間に歯 れ い b いい	斗検診を受	•	たか。			e 妊娠 おロの	事で多	-	の他(る症状 :	があり	ますか。	0)	
4 年1년 a は 5 たば a 現	回は 歯石を的 い b いいた い b いいた こを吸ったこ 在吸っている	a 科医療機 え とがありま 。 b 吸って	すか。 いた事が	ಹೆ ತ ಿ	。吸った	9 事がなし			b	いいえ	ナる機	会があ	ります	⁾ か。	
現在圏 8	i·喪失歯 <i>0</i>	7 16 5	(喪矢圏	のっち, 3	,補級处 2	1	个要な 1	選には 2	×をii 3	^{2人)} 4	5	6	7	8	1
右8		6 5	4	3	2	1	1	2	3	4	5		7	8	 左
1	.健全 歯数 (/)	2.未処 歯数 (C)		Ī	処置 歯数 (〇)		4.現在 歯数 (1+2	+3)	岜	e補綴 函数 △)		6.欠損 歯数 (△			
口腔清 1 良 2 普 3 不	e好 音通	歯石の付着 1 なし 2 軽度(点: 3 中等度(状)あり		BC PD BC	P _	決況 スは16	11		26又伝		[歯肉出 0:健全 1:出血 9:除外ī X:該当ī	あり 歯	P]	
その他の	の所見				PD							[歯周オ	ポッケト	PD]	
	し 南列・咬合	4 7 01	他		個人		マは46 :(最大値	重)	31	36又1	‡37	0:健全1:浅い	ポケット	~(4mm~ ~(6mm以	
	質関節 5膜							歯肉出 歯周ポ				9:除外 X:該当	歯		
1.異 ・CF ・未た	b膜 分(該当る 常なし PI:歯肉出血 かつ	2.要 O a b yトO c i綴歯・d がない	を指導 CPI:歯肉 口腔清掃 歯石の付	出血1, 状態不 着あり や基礎	かつ, 営 良 (軽度, 「 疾患, 営	歯周ポク 中等度。 歯科医療	以上)療機関等	歯周ポース・スター 3.要 a b c f の d iへの i への i 1 検 i 1	ケット 要精密 CPI: 処補 を を を を を を を を を を	ヨポケッ ヨポケッ 歯 歯 歯 動 あ り で で が が の は あ の に あ の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	小2 (歯科 機関に	9:除外当 e 更がそ 療指導	歯歯 習半要他 関予	う基礎が 検査や 。 「見あり	治療
1.異 ・CF ・未た ・ 特記事	b膜 分(該当する 常なし 肉の間域の の他のでは の他の形ででは の他のでは では の他のでは では のでは のでは のでは のでは のでは のでは の	2.列 O a b yトO c i綴歯・d がない ! 項	要指導 CPI:歯肉は 口腔清明の 日間で 日間で 日間で 日間で 日間で 日間で 日間で 日間で 日間で 日間で	出血1, 状態不 着あり や基礎 等,指導	かつ, 協 良 (軽度, 「 疾患, 歯 厚を要す 民税非言	歯周ポク 中等度 歯科医療 る。	アットO 以上) 療機関等 市 帯)	歯 3.3 a b c d 「への 対 1 検診 2	ケット を精密 CPI: 会 でPI: の 会 を を を を を を を を を を を を を を を を を り り し た も り し た も り も り も り も り も り も り も り も り も り も	司ポケッ 間	小2 (歯科 機関に	9 X e f 医てて(・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	歯歯 習洋要他 関予予 に定定	う基礎が 検査や 。 「見あり	治療

歯周病検診票(医療機関控え)

*太	<u>枠の</u>	中を	卸記力	くだ	<u>さ</u> し	۸,										楨	查	B	年		月	B		
名前		フリ	ガナ																	性別		男女		
信	È Ť	₹			-[福山	市			町	生年月日	· "	四和 西暦		×	年		月	П		
電	話		自宅 [〕携	帯	□ 勤和	务先				_				_				年齢			歳		
1 读 a 读 a 读 a 4 4	み O b 何 間 毎去は回 1 000000000000000000000000000000000000	くさ は は な み シ ら 間 ら あ あ も し も あ も の も る る る る る る る る る る る る る	1 日 何 1 回 2 がきます た 時 歯 いい	可のはかりの検 科を利用してはかりのはから はんかり はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんし	ン 2 1 1 フ ウ で う る う る う う う う う う う う う う う う う う う	ナ,()。 当 ロスいき は ロスいき	3回以_ (使って :い しまし;	上)分 いま たか。	[}] すか。	,	6 7 8	くだか a 全 a c e お (職さいりしゅう 糖関妊児 場	つけ、 以 状 所 い か	態で。 マチ 「 で気	b あては b d f - 気にな	い ま ま 狭 臓 そ る 右	え もの 症・心 型肥 b(状))はどれ ◇筋梗® 満 があり	ιですが と・脳梗ジ ますか	ゝ 。 塞))		
5 た	ぱこ	を吸	ったこ	とが	-	ります ; ってい;	-	ある。	с Մ	えった:		a はし	_	C #		いい		אמרטיי ל	, <u>Д</u> /3 · 0:	7767	7.75			
現在		喪纬	-歯の)状	況	兜)	要失歯	のう	ち, 補	i 綴贝	℡置€)不要な	歯	には	×を	記入)							
٠	8	7	7	6	,	5	4	3	2		1	1		2	3	3	4	5	6	7		8		
∤	8	7	7	6	ļ	5	4	3	2		1	1		2	3		4	5	6	7	'	左		
	1.健全 2.未処置 歯数 歯数 (/) (C)								3.処置 歯数 (〇	汝		4.現在 歯数 (1+	ţ)	Ī	要補 歯数 (Δ)			歯数	6.欠損補綴 歯数 (△)				
口腔	清掃	状息								歯	肉の 料	犬況 '又は16	11	1		2	6又1	t ₂₇	[歯肉出	d血BO	P]			
2	良如 普通 不且	甬			し E度	付着 (点状) 度(帯4		: 5		BO PD BO	P									O:健全 1:出血あり 9:除外歯 X:該当歯なし				
その	他の	所見	Į.							PD				l					「振田・	ポッケト	DD]			
1	なし歯の	列•咬 関節	合	4	そ	の他				個人		^{7又は46} ド(最大	歯	肉出	31 血 ケット	3	6又1	±37	O:健全 1:浅し 2:深し 9:除タ	È ヽ゚ポケッ ヽ゚ポケッ	ト(4mm〜 ト(6mm以			
	. 異常 たPI 未での 事項	な歯の歯歯の指	出血 ポケッ ・要補 ・所見 導事	O ットO i綴i がな 項	園・	b 口服 c 歯 ^元 d 生剂	計算 記: 整清 空 行 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	出血・ 対状態 け着あ基 す。, す	1かつ 不良 軽疾	,歯/ 度, 뎍 患, 歯 ・要す	割ポケ 中等度 耐科医 る。		等の 市へ 1 2 3	a b c d の 検検他の	車絡 導 した菌 した菌 歯科[周市 周南 國際 東 東 東 和 和	ピケりり 医療	小2 (歯科 機関に	更に	詳要他関予予定	検査や 。 ff見あり	l)		
3 4	医组织		関コー								機関		4	<u>未定</u>					Ę	話				

歯周病検診結果のお知らせ

名 前		フリガラ	<u> </u>													· 性 別		-	男女
住 所	₹			- [福山	市		町	生年月日	昭和西暦	ш		は 口		月[]目
電話	5 🗆	自宅	□携	携帯 🛚	勤務先			_				_			年齢			0 点	表
生20 解 水 湯 与 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	永久歯は「親知らず」を含めて全て生えると32本です。 E涯にわたって自分の歯で食べることができるように、 O本以上の歯を保つことを目標にしましょう。 歯が少なくなっている方も、今ある歯を大切に保つように めましょう。 歯周病は、歯を失う一番の原因であり、糖尿病、心臓病 夹心症・心筋梗塞等)、脳梗塞、関節リウマチ、内臓型肥 、早産・低体重児出産、肺炎等、全身の健康に悪影響を えることも分かっています。 今回の歯科検診を機会に、かかりつけの歯科医療機関 もち、年1回はチェックを受けましょう。									成人を対象とした歯周病 予防の調査によると、定期 的に歯石除去を受けると、 受けなかった場合に比べ、 5年間で1本以上の歯の 喪失防止につながることが 判っています。 最低でも年1回は歯石を取り ましょう。									差本石除去
歯のも		(/:侹				1	〇:治療》	斉の歯	△:入れ						歯など		ているi		
	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2		3	4	5	6	5	7	8	토
	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2		3	4	5	6	6	7	8	
	健康な 歯の数			治療のし歯の			諸療済の 前の数		あなた 歯の数			入れ菌 が必要				歯など っている	ζ		
		`	数			<u> </u>	の数		合計			の数	ティス	l	歯の数		ע		
口腔清								講考 〕	-			-	ま 仏 迷				ע 		
口腔清 1	清掃状 良好 普通 不良	態	数 歯石の(1 なし 2 軽度					<u></u> 精考〕	-			-	デ 仏 M						
口腔清 1 月 2 章 3 2 その他	掃状 良好 普良 不良	態	歯石の(1 なし 2 軽等)	付着 (点状) <i>あ</i> 度(帯状)				講考 〕	-			-	安 (4) 医	I					
口腔清 1 : 2 : 3 : その他 0 :	掃状 良好 普良 不良	態	数 歯石の(1 なし 2 軽度	付着 (点状) <i>あ</i> 度(帯状)				 精考〕	-			-	文 (4) 医	I					
口腔清 1 月 2 章 3 ラ その他 0 か 1 章	清掃状 良好 音通 不良 の所.	態 見 交合	歯石の(1 なし 2 軽等)	付着 (点状) <i>あ</i> 度(帯状)				情考〕	-			-	文 4 B	I					
口腔清 1 : 2 * 3 * その他 0 が 1 : 2 * 3 * 3 * 3 * 3 * 3 * 3 * 3 * 3 * 3 *	掃状 良 普 不 の し 列 関 膜	態	歯石の(1 なし 2 軽等)	付着 (点状) <i>あ</i> 度(帯状)				情 考 〕	-			-	文 ()	I					
Pe	情 良 普 不 の は 歯 顕 粘 区おも良丁続心状 好 通 良 所 ・ 節 例 の かり 関 膜 分口なり はまままます かい	態 見 交 ウ状 変動期になる。き診になる。き診になる。	歯123 右な軽中 よ。 【〔〔〔〔〔	付着 (点 (度 の の	病を疑 症を を を なり なり、生活 でする は、生活 でする は、生活 でする は、生活 でする は、たい たい たい たい たい たい たい たい たい たい たい たい たい た	り 所 がいい療物 がいた療物 手指機 が	がありま	ましましましましましま。	合計)更に ())深い ()]む(羊し の用の歯がある。	の数 検ケット おります る	や治 郷 が認め が認め	京が必 られまし	要なれ た。[]	大き (地) 生活 (世) 生活 (世) 生 (世) と	す 慣い。 や検 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。	や治療	寮が ミす。
一腔 1 1 2 3 その 0 1 2 3 下 1 2 3 下 1 2 3 下 1 3 下 1 3 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	掃 段 普 不 の は 歯 顕 貼 区おも良丁続心です。 状 好 通 良 所 の り 関 膜 分口好い寧け掛項・ 状 の し 列 関 膜 分口が成立定で打	態 見 交 ウ状 態弱期な 音 はで、き診さ事	歯123 4 す。 できる。項	付 (度 の) 動物 の の 動物 の の 関 の の 関 の の 関 の の の の の の の の の の	病を疑 症を対し、生をない、生性についます。	り 所 あいて療性のの 動は 動は 動は が の の の の の の の の の の の の の の の の の の	「伽 がす。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ましましましましましましましましましましょう。	合計 (*** *** *** *** *** *** *** *** *** *)更 ([]] 対	羊しい ・ 歯歯があり は	の数 検ケット する はまま は は は は は は は は は は は は は は は は は	や治 が認め ・なっ ・ 保優	療 がよいます。 単所健康	要なり た。 (その他	** ** ** ** ** ** ** ** ** **	す 慣い。 のや検 の の の の の を の を は の の は の の の の の の の の	おりま考くだる	療が ミす。 さい)
Per 1 2 3 2 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	精 良 普 不 の は 歯 顕 粘 又おも良丁続心項 し担け 好 通 良 所 の り 関 膜 分口好以寧け掛項 担 大 の し 列 関 膜 分口なり は定じれ 金	態 見 交 ウ状 態弱期な 音 はで、き診さ事	Manual Manua	付 (度 の) 動物 の の 動物 の の 関 の の 関 の の 関 の の の の の の の の の の	病を疑 症を対し、生をない、生性についます。	り 所 あいて療性のの 動は 動は 動は が の の の の の の の の の の の の の の の の の の	((((((((((ましましましましましましましましましましょう。	(ぶこのボあります※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この※この)更に (ここで) (ここの) (こo) (こo) (こo) (o) (o) (o) (o) (o) (o) (o) (o) (o) (羊しい ・ 歯歯があり は	の数 検ケット する はまま は は は は は は は は は は は は は は は は は	や治 が認め ・なっ ・ 保優	療 がよいます。 単所健康	要な た。 (その推進使)	** ** ** ** ** ** ** ** ** **	す 慣い。 のや検 の の の の の を の を は の の は の の の の の の の の	おりま考くだる	療が ミす。 さい)